

騒音実測が行われました！



11名の住民参加

「ご協力ありがとうございました」

11月26日(水)、上南自治会にて騒音実測調査を行いました。実測日当日は天候に恵まれて、大きな事故もなく無事に実測を行うことができました。

上南自治会からは11名の住民のみなさんが参加されました。三浦研究室からは8名の学生が参加し、住民のみなさんのサポートをしながら一緒に実測を行いました。住民のみなさんは非常に熱心に取り組んでいました。ほとんどの方が騒音計を使うことがはじめてでした。しかし、それは何の問題もありませんでした。学生と一緒に実測を進めていくうちに次第に慣れてきて、実測が終わる頃にはみなさんとも使いこなして、住民の方々が自ら率先して実測を行っている風景が多く見られました。

実測後には、「自分の住んでいる地域全体についての関心が強くなったと思います。」(50歳代女性)、「参加してとても良かった。自分の生活している所が静かな所で良かった。」(60歳代男性)「実際に騒音を測定してみても感覚的に思っていた騒音より以外に値が低かった。」(60歳代女性)などの感想をいただきました。実測に参加したことで、普段は気づかない身の周りの環境に興味を持つことができ、騒音に対する意識も高まったと思います。

みなさんのおかげで、騒音実測調査は成功しました。ご協力、ありがとうございました。

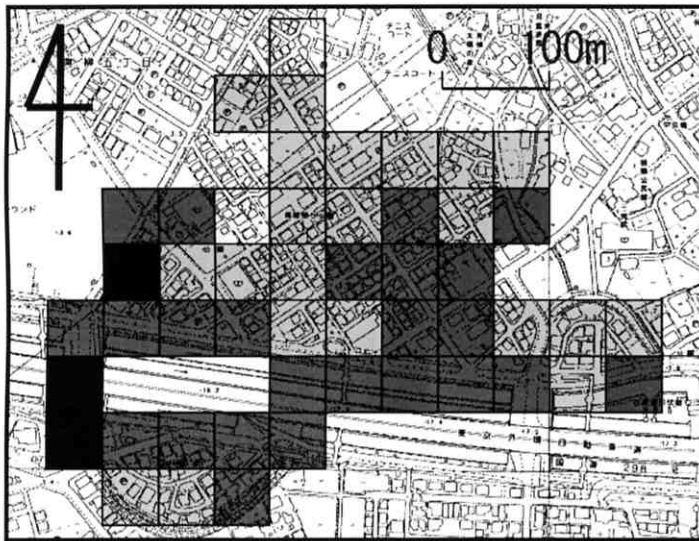
上南自治会 住環境新聞

第2号

2003.12.21 発行
 <製作者>
 芝浦工業大学三浦研究室
 4年 桜井 修
 4年 鶴見 英大

結果報告

左にある地図が、上南自治会地域における騒音メッシュマップです。メッシュという言葉は英語で、「網の目」を意味します。上南自治会内を50m×50mの正方形に区切り、メッシュマップに表しています。色が濃くなっている地域ほど、騒音レベルが高いことを表しています。詳しくは、左の凡例を参照して下さい。



凡例 (単位: dB [デシベル])



騒音源は

防音壁開口部

国道298号線沿いは55~65dBと騒音レベルが高くなっています。特に交差点部分は防音壁がないので、そこから音が漏れて広がっています。また、草加高校脇の交差点でも騒音レベルが高くなりました。交差点の信号部分で自動車が発進する時に生じるエンジン音が原因であると考えられます。全体的に国道298号線から離れていくにつれて騒音レベルが下がっています。

環境基準は65dB

環境省は、環境基準として騒音の基準を定めています。環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されるのが望ましいとして定められたものです。上南自治会区域は防音壁の効果によりほとんどの計測地点で環境基準はクリアしています。しかし、クリアしていない計測地点も確認されました。騒音がうるさく感じられることの原因に、自動車の速度規制が守られていないことなども考えられます。これからどう対策していけばよいか、みなさんも考えてみて下さい。

<<お問い合わせ先>>

芝浦工業大学
 システム工学部 環境システム学科 三浦研究室
 〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307
 TEL/FAX 048(687)5832 (月~金 11時~18時)
 Email: r00039@sic.shibaura-it.ac.jp
 教授: 三浦 昌生
 担当学生: 桜井 修、鶴見 英大
<http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/>

【新聞の発行にあたって】
 この草加市上南自治会住環境新聞は、住民の皆様に住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査に参加していただきたいの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

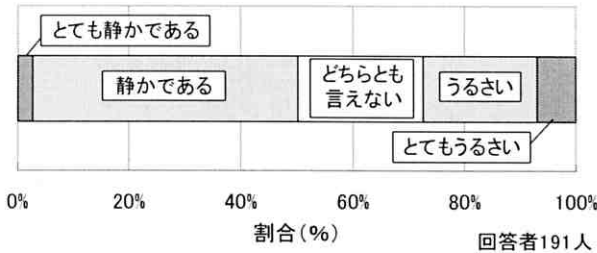
第一回アンケート調査結果発表

11月上旬上南自治会の住環境に対する第一回アンケート調査を全世帯を対象として行いました。騒音、交通量、風通し、空気の汚れ、上南自治会に対する満足度など様々な質問をアンケートでは行いました。

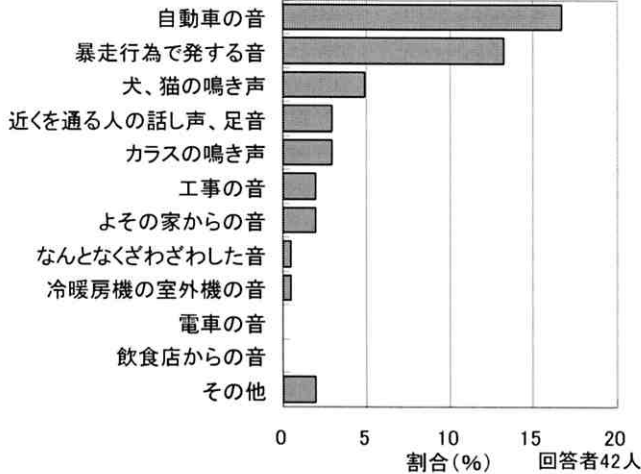
上南自治会の232世帯に配布して204世帯分回収する事が出来ました。回収率は約88%で、とても高く、良い結果だと思われまます。住民のみならず、会長、副会長、班長間の組織力、連結の強さもこの高い回収率につながったと思います。

今回第一回アンケート結果をすべて報告したかったのですが、質問数がとても多く、スペースの関係上一部だけ掲載させていただきます。次号にもアンケート結果を載せる予定です。

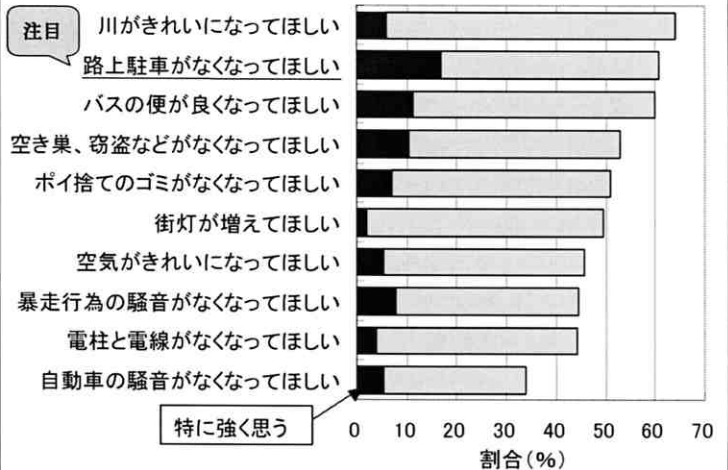
質問3：あなたはお住まい周辺の騒音についてどのように感じていますか。



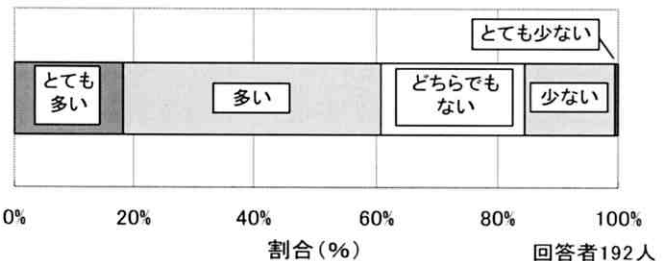
質問4：あなたはどのような音をうるさく感じますか。



質問1：これからの上南自治会地域がどのような町になってほしいと思いますか。



質問2：あなたはお住まい周辺の路上駐車についてどのように感じていますか。



アンケートの中で「これからの上南自治会地域がどのような町になってほしいと思いますか。」という質問をしました。30個の複数可の選択形式でその中のベスト10を上記の質問1のグラフに表しました。「特に強く思う」部分は黒いグラフに表れています。この質問は地域の特徴が顕著に表れます。グラフをみてもらえば分かりますが、上南自治会のベスト3は「川がきれいになってほしい」「路上駐車がなくなってほしい」「バスの便がよくなってほしい」という結果になりました。

ここで注目すべきところは路上駐車です。上記の質問2を見てもらえば分かりますが、路上駐車が多いという意見の方が6割を超えています。自治会内の路上駐車量は他の地域に比べて多いという印象を受けます。火災等起きた時に緊急車両が入れないなどの問題を引き起こす可能性も十分考えられますので、路上駐車は止めましょう。

同じアンケートを草加駅周辺にある自治会も行いました。質問1のベスト3は「空き巣、窃盗などがなくなってほしい」「ポイ捨てのゴミがなくなってほしい」「電柱と電線がなくなってほしい」でした。

新聞の表に騒音実測の記事を載せましたので、騒音に関するアンケート結果も報告します。上記の質問3は周辺の騒音について聞いた質問です。上南自治会は外環道沿いですので、「うるさい」と回答する割合の方が上回ると予想していたのですが、結果を見ると「静かである」と回答した人が5割を超えています。やはり防音壁があることにより住民意識にも効果があるのではないかと考えられます。上記の質問4は質問3で「うるさい」と回答した方がどのような音をうるさいと感じるかという質問です。やはり自動車の音が一番のよ

～担当学生よい～

桜井 修 さくらい おさむ

空気の汚れを測る、二酸化窒素濃度調査お疲れ様でした。そして班長さん、配布回収のご協力ありがとうございました。今までアンケート、騒音、交通量、二酸化窒素濃度と住環境調査を行いました。印象に残ったことは騒音・交通量調査で参加して下さった住民のみなさんからの貴重なご意見でした。この住環境調査を通して住民のみなさんが少しでも住環境に対する意識を高めて頂きたいと考えています。それが研究室の役目だと思います。



さくらい おさむ
桜井 修

鶴見 英大 つるみ ひでお

話し合いや実測などで上南自治会に何回も行くうちに、次第に自治会区域の様子がわかってきました。アンケートの結果を見ても、「あく、なるほどな。」と思えることがあります。住民の方々にはいつも親切にしていたら、感謝しています。先日、実測の際には御近所の方からお茶をいただきました。寒い中とても助かりました。ありがとうございました。来年も、ご協力よろしくお願いたします。



つるみ ひでお
鶴見 英大

次号の新聞発行は2004年1月です！！

次号の新聞には第一回アンケートの残りの部分と12月2日に行われた交通量調査と17日に行われた二酸化窒素濃度調査について掲載したいと思います。皆さん楽しみにしておいてください。